

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-43398

(43) 公開日 平成9年(1997)2月14日

(51) Int.Cl. ^a	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 2 1 F 9/36	5 0 1		G 2 1 F 9/36	5 0 1 Z
			B 6 5 D 81/00	
			G 2 1 F 5/00	W
// B 6 5 D 81/00				

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-212361

(22) 出願日 平成7年(1995)7月27日

(71) 出願人 595120585

新潟工販株式会社

新潟市女池6丁目18番11号

(72) 発明者 佐々木 崇

新潟市女池6丁目18番11号 新潟工販株式会社内

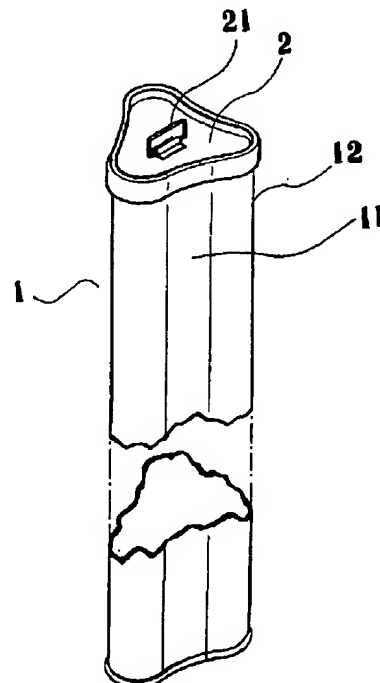
(74) 代理人 弁理士 近藤 彰

(54) 【発明の名称】 廃棄物用容器

(57) 【要約】

【課題】ドラム缶を放射性廃棄物のような長期間の保存を必要とする廃棄物に使用した際に生ずるドラム缶間の空間の有効利用を図る。

【解決手段】容器状の本体1と、本体1を密封できる蓋体2から構成され、平面形状が、中心を正方形の各頂点位置に配して互いに接する同一円で囲繞される形、若しくは中心を正三角形の各頂点位置に配して互いに接する同一円で囲繞される形に対応する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 平面形状が、中心を正方形の各頂点位置に配して互いに接する同一円で囲繞される形に対応する廃棄物用容器。

【請求項2】 平面形状が、中心を正三角形の各頂点位置に配して互いに接する同一円で囲繞される形に対応する廃棄物用容器。

【請求項3】 請求項1又は2記載の何れかの廃棄物容器に於いて、上面部分に吊り手を付設したことを特徴とする廃棄物用容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、放射性廃棄物のような主として長期間の保存を必要とする廃棄物に使用する容器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】原子力発電所等の各種原子力施設から、各種の放射性廃棄物が生ずる。これらの放射性廃棄物のうち中、低レベルの放射性廃棄物は、ドラム缶に収納し、セメント等を流し込んで固形化処理し、蓋体で密封し、地中施設に収納して長期保管を実施している。即ち処理手段に使用される容器は、基本的に蓋を着脱できるドラム缶である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、前記のドラム缶は、平面形状が円形であり、長期保存のための多数の廃棄物収納済みのドラム缶Aは、図3及び図6に例示するとおり、通常は隣接ドラム缶が当接状態で整列（具体的は正方形配置若しくは正三角形配置）させてなる。即ち整列状態では、隣接ドラム缶で囲繞された空間a、bが生ずる。長期間の大量の廃棄物の保存において、前記空間a、bは大きい無駄を抱えることになり、保存施設の有効利用の点で問題となる。そこで本発明は、前記の空間の有効利用を図る廃棄物用容器を提案したものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明に係る廃棄物用容器は、平面形状が、中心を正方形の各頂点位置に配して互いに接する同一円で囲繞される形、若しくは中心を正三角形の各頂点位置に配して互いに接する同一円で囲繞される形に対応するものであり、また特に前記容器に於いて、上面部分に吊り手を付設したことを特徴とするものである。

【0005】整列状態のドラム缶（主たる廃棄物用容器）における隣接ドラム缶で形成される空間に、前記廃棄物用容器を位置させることができ、廃棄物収納施設空間を有効利用することができる。

【0006】

【実施例】次に本発明の実施例について説明する。

<第一実施例>図1乃至図3は本発明の第一実施例を示

2

したもので、この実施例は、三角配置したドラム缶Aの空間aに対応させたものである。

【0007】第一実施例の廃棄物用容器Bは、基本的に容器状の本体1と、蓋体2から構成され、平面形状が約三角形としたものである。即ち本体1は、三角形の各辺部となる側面部11は、ドラム缶Aの外周円と対応する凹弧面で、側縁部12は前記側面部11を円弧状に連続させて、平面形状が、ドラム缶Aの中心を正三角形の各頂点位置に配した際のドラム缶で囲繞される形になるように形成したものである。蓋体2は、本体1の上部開口部13に密嵌される形状に形成してなり、上面部分に吊り手21を設けたものである。

【0008】而して前記廃棄物用容器Bは、本体1内に例えば放射性廃棄物を収納し、更にセメント等を流し込んで固形化処理を施した後、蓋体2を被せ、蓋体2を本体1に溶接その他手段で一体化して収納廃棄物を密封する。そしてドラム缶を使用して同様の手段で廃棄物を密封してなる主たる廃棄物用容器Aを、図3に例示する通りその中心が正三角形の配置となるように整列し、ドラム缶Aで囲繞された空間aにドラム缶Aの整列と同時に当該箇所（当該空間位置）に配置したり、若しくはドラム缶Aを整列させた後に、廃棄物容器Bを吊り上げて、上方より当該空間位置aに運搬し、空間aに収納するものである。従って従前無駄な空間であったドラム缶Aで囲繞された空間aの有効利用が実現するものである。

【0009】<第二実施例>図4乃至図6は本発明の第二実施例を示したもので、この実施例は、正方形配置したドラム缶Aの空間bに対応させたものである。第二実施例の廃棄物用容器Cは、第一実施例と同様に、容器状の本体3と、蓋体4から構成され、本体3の平面形状が約四角形としたものである。即ち本体3は、正方形の各辺部となる側面部31が、ドラム缶Aの外周円と対応する凹弧面で、側縁部32は前記側面部31を円弧状に連続させて、平面形状が、ドラム缶Aの中心を正三角形の各頂点位置に配した際のドラム缶で囲繞される形になるように形成したもので、上面部33は、円形の蓋体4の螺孔（投入口）34を形成すると共に、吊り手35を設けてなる。また蓋体4は、本体3の前記螺孔34に螺装される形状に形成したものである。

【0010】而して前記廃棄物用容器Cは、投入口（螺孔）34より廃棄物を収納し、適宜な固形化処理の後、蓋体4を螺装して密閉し、図6に例示するとおり、正方形配置したドラム缶Aで囲繞された空間bに配置してなるものである。

【0011】尚本発明は、容器の平面形状に特徴を備えたもので、容器の大きさは、一緒に使用されるドラム缶の大きさ（外径及び高さ）によって定まるものであり、容器自体の構造、廃棄物を密封する手段等は任意に定められものである。

【0012】

3

4

【発明の効果】以上のように本発明は、平面形状が、ドラム缶を正方形若しくは正三角形の各頂点位置に配して整列せしめた際に生ずる空間に対応する形状の廃棄物用容器で、廃棄物収納施設空間の利用率を高めたものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一実施例の全体斜視図。

【図2】同断面図。

【図3】同使用状態の説明図（平面図）。

【図4】本発明の第二実施例の全体斜視図。

【図5】同断面図。

【図6】同使用状態の説明図（平面図）。

【符号の説明】

<第一実施例>

1 本体

11 側面部

12 側縁部

2 蓋体

21 吊り手

<第二実施例>

3 本体

31 側面部

32 側縁部

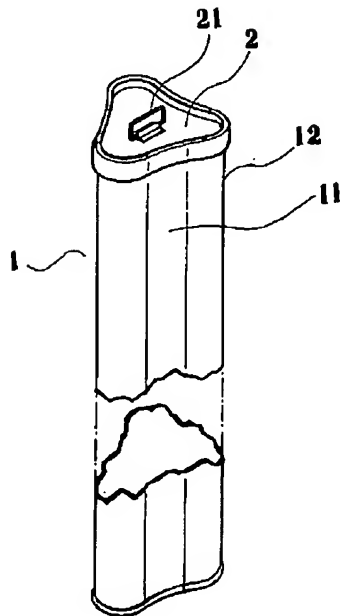
10 33 上面部

34 螺孔（投入口）

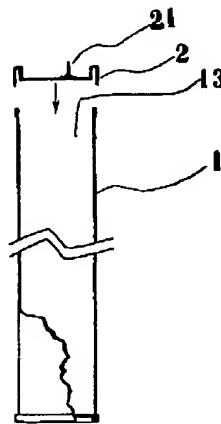
35 吊り手

4 蓋体

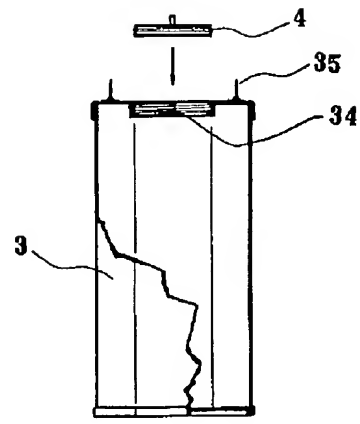
【図1】



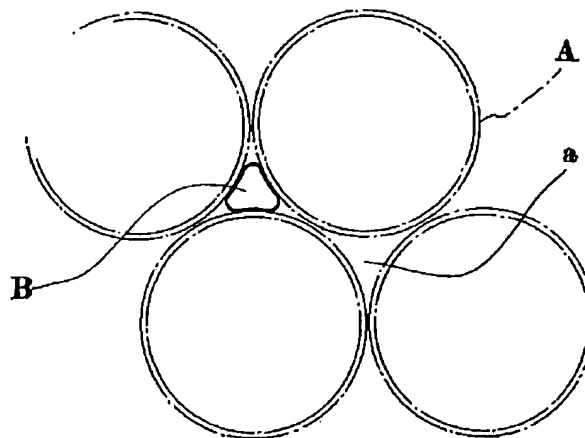
【図2】



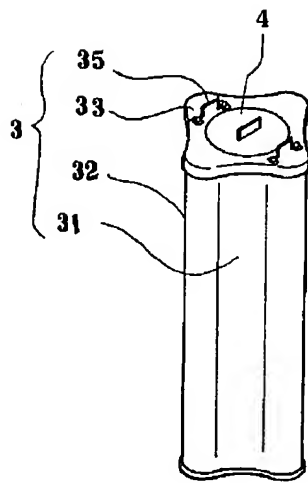
【図5】



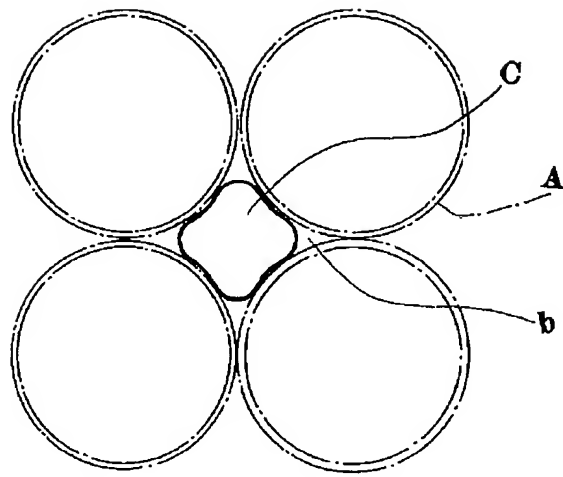
【図3】



【図4】



【図6】



PAT-NO: JP409043398A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09043398 A
TITLE: CONTAINER FOR WASTE
PUBN-DATE: February 14, 1997

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
SASAKI, TAKASHI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
NIIGATA KOHAN KK N/A

APPL-NO: JP07212361
APPL-DATE: July 27, 1995

INT-CL (IPC): G21F009/36, G21F005/002 , G21F005/005 ,
B65D081/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To efficiently utilize a space between drum cans formed in using the drum cans for storing wastes such as radioactive wastes which is necessary for storing for a long time.

SOLUTION: A container for waste comprises a container main body 1 and a lid body 2 for sealing the main body 1 and its plane shape corresponds to such a shape that the centers are arranged in the respective apexes of a square and surrounded with the same circles contacted with each other or the centers are arranged in the respective apexes of an equilateral triangle and surrounded

with the same circles contacted with each other.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO